

安全を守る

思い込みの安全安心

朝、目が覚めるとまずは眠気覚ましにとテレビのニュースをつける。「殺人事件に強盗事件、薬物事件、放火による火事、交通事故」といったニュースが放送されない日は無く、「この手のニュースが流れるのが、当たり前前の日常？」とさえ思えてしまいます。

さすがに、子どもが被害に遭うといった重大事件や事故には、憤りを感じたり、考えさせられることもあります。しかし、大部分は「遠い所でのこと。」「身近には起きないだろう。」と気にとめることもなく、毎日を過ごしています。

身近なところでも…

一九八九年、飯塚市で当時小学一年生の女兒が、一人で遊んでいる姿が目撃されたのを最後に行方不明となる。(現在も消息不明)

一九九二年、飯塚市で二人の女兒が登校途中に行方不明となり、その翌日、甘木市(現在は朝倉市)の山林で遺体となって発見される事件が発生。(犯人は逮捕)

二〇〇四年、飯塚市の専門学校に通う女性が帰宅途中に公園で殺害されているのが発見され、その後も北九州市、福岡市で女性が犠牲となる同様の事件が発生。(犯人は逮捕)

始動

見守る